

# 大学院で楽しく学びませんか?!

## 仲良く、楽しく学んでいます < 1年生より >

「大学院」という名前からは、やはり難しいイメージを持っていました。みてやま学園を卒業して、仲間からの誘いもあり、思いもかけず大学院に行くことにしました。正直、最初から不安もなかったと言えば嘘になりますが、来てみればやはり楽しいことが多々あります。「元気なうちは、できるだけたくさん出かけよう」と心がけており、その1つとして大学院を考えています。4年制大学講座とは少しおもむきは違いますが、また違う経験ができると思えば楽しみにも感じています。皆様の入学をお待ちしております。

楽しかった4年間のみてやま学園での学生生活に引き続き、大学院での活動は私にとって命の源泉となっています。大学院では、4年間の学園生活で学んだことを生かし、何か1つ専門的なものをもっと知りたい、楽しみたいと思って模索しています。地域も生活も違う仲間が語らうことで、様々な楽しい、また自分にとって新しい情報にも触れることができます。みてやま学園とはまたひと味違った学びの中に生きがいを見つけ出していきたいと考えています。皆様も、人生前向きに、一緒に楽しんでみませんか!

この年になって大学院に誘っていただき大変だと思いましたが、思い切って入学させていただき、但馬の色々なところへ出向いて学ぶことができ楽しいです。高齢者大学での学びの総まとめとして、今後どのような形で自分の学びを地域の中で生かしていけるのか探るための大学院での学習と思っています。今年1年間の学習を通して、取り組むテーマも見えてきました。皆さんも自己の向上と生きがいづくりに、是非大学院での学びに挑戦してみませんか。お待ちしております。

## “積極的な学び”と“生きがいづくり” < 2年生より >

みてやま学園の4年間は楽しいものでした。その分は高齢になりましたが、2年間の大学院生活はそれ以上に意義があり、より楽しいものになりました。最初は難しいところと思っていましたが、修了を前にした今は、もう1年でもお世話になりたいくらいです。今、心から「来て良かった!」と思っています。様々な活動を通しながら、学友の心の温かさを知ることができたことに、ただただ感謝しています。皆様も、どうぞ気軽な気持ちで、仲間と共に学習に励んでみてください。

大学院では、みてやま学園の4年間とは少し違う2年間を過ごしました。自分たちで目標を決め、考え、行動して学びを創り上げていくものでした。自ら学び、友から学び実践していくことは大変ではありますが、新しい知識にふれ、体験をし、また違う人生観を持つことができました。実践活動の後には何ともいえない充実感を味わうこともできました。是非皆様も大学院での「積極的な学び」という学生生活を体験してみてください。

2年間続けることができるかなあという思いで入学しましたが、あっという間に終わりを迎えようとしています。振り返ると、2年間本当に楽しい思い出が一杯です。なかでもグループ活動は一生の宝物となる素敵な思い出です。一人で何かをしなければならいのではなく、グループみんなでの助け合い、学び合い活動です。よく話し、よく笑い、健康にとっても本当に良かったと思っています。人間、やはり大勢の中に居ることが大切だと思いました。皆様にも、新しい出会い、仲間との絆、そして学びを将来に生かしていくという生きがいや喜びを手にしていただきたいです。大学院で学んでみませんか。